

令和 4 年度 周産期医療関係事業（予算事業）について

1 周産期医療対策費 (R4 : 304 百万円) 継続

総合的な周産期医療体制を整備し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを推進するため、周産期母子医療センターの運営支援や周産期医療施設設備整備を実施。

(1) 岩手県小児・周産期医療協議会の開催

- ・ 総合的な小児・周産期医療体制の整備及び小児・周産期医療に係る事項について協議

(2) 周産期母子医療センター運営事業

〔総合周産期母子医療センター〕

- ・ 妊婦のうち、特に危険度の高い者を対象とし、出生前後の母体、胎児及び新生児の一貫した管理を行う施設に対する補助

〔地域周産期母子医療センター〕

- ・ 地域において、出産前後の母体、胎児及び新生児の一貫した管理を行う比較的高度な医療を提供する施設に対する補助

(3) 周産期救急搬送コーディネーター事業

- ・ コーディネーターを配置し、リスクに応じた適切な受入れ先の選定と確保を行うとともに、周産期医療情報の収集及び提供を行い、周産期医療情報センター機能の強化を図る

(4) 周産期医療施設設備整備事業

- ・ 専門的な周産期医療体制の整備を図るため、母体・胎児集中治療管理室 (MF ICU) に必要な機器の整備に要する経費を補助

(5) 周産期医療情報連携推進事業

- ・ 岩手県周産期医療情報ネットワークシステム (いーはとーぶ) を運用
- ・ 岩手県周産期医療情報ネットワークシステム (いーはとーぶ) と各病院基幹電子カルテとの連携を行うため、各機関が整備した周産期電子カルテの保守に要する経費を補助

(6) 周産期臨床技術研修事業

- ・ 妊婦健診や診断の精度向上を図るため、周産期救急に係る研修会や新生児蘇生法講習会を開催

(7) 周産期医療普及啓発事業

- ・ 周産期医療の現状や、妊娠・出産に関する情報等をまとめた「いわてで産み育てる周産期医療ガイドブック」の一部更新及び増刷を行い、妊産婦等への周知を実施

2 妊産婦支援事業費 (R4 : 4 百万円) 一部拡充

どの地域においても安心して妊娠・出産ができる周産期医療提供体制を整備するため、妊産婦に対する支援を行うとともに、周産期医療に係る県民等への普及啓発を実施

(1) ハイリスク妊産婦移動等支援事業（アクセス支援） 拡充

- ・ ハイリスク妊産婦が健診又は分娩のために周産期母子医療センターへ通院若しくは入院又は近隣の宿泊施設に待機宿泊する際に要する経費を市町村が助成した場合、当該市町村に対し補助 （令和 4 年度から産婦健診に係る交通費を対象に追加）

【R3 実績】 6 市町村、24 人活用

【R4 事業予定】 15 市町村、108 人程度活用見込

(2) モバイル型妊婦胎児遠隔モニター整備事業 R3 補正予算により追加整備

- ・ リスクの高い妊婦の状態を遠隔でモニタリングし、緊急出産等の低減を図るとともに、妊婦の救急搬送中の計測データをリアルタイムに周産期母子医療センターに送信することにより、円滑な受入態勢の構築を図るため、モバイル型妊婦胎児遠隔モニターの整備に要する経費を補助